

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市体育協会運営補助金	開始 年 度	昭和 44 年度
団 体 名	特定非営利活動法人 函館市体育協会		
助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内スポーツ団体を統括し、競技スポーツの強化事業や競技会の開催支援事業など、加盟団体に対する各種支援事業等を行っている。
目 的	(目 的) 加盟団体に対する各種支援事業やスポーツ関係者の表彰事業等を実施している体育協会へ運営補助することにより、本市スポーツの振興に資するとともに、今後より一層の運営活発化を促進する。
・ 効 果	(効 果) 各種事業の開催や全道・全国規模の大会が本市で開催され、競技団体の選手強化や競技力の向上が図られているほか、市民の体育・スポーツへの関心が高まるなど、生涯スポーツの振興に寄与している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会 費	繰越金	雑収入		計
		市	その他					
収 入	26	14,000			1,080			15,080
	27	14,000		117	1,056	0		15,173
	28	14,000		326	0	0		14,326
	29	14,000		11	914	0		14,925
	30	14,000		55	635	0		14,690
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費				計
	26	3,380	2,827	8,419				14,626
	27	3,381	2,696	9,096				15,173
	28	3,391	2,916	8,019				14,326
	29	3,399	2,532	8,994				14,925
	30	3,667	3,007	8,016				14,690

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市体育協会運営補助金
----------------	--------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	当協会は市内41の競技スポーツ団体などを統括し、競技力向上のため多様なスポーツ事業の実施や、優秀な指導者の育成等、本市の競技スポーツの普及・振興を図っていることから公益性が認められる。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	市の補助金が総事業費の90%を占めているため、今後も財政基盤の確立のための自主財源の確保について指導をしながら、財政支援を続ける必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	平成22年度からNPO法人となり自主・自立の動き出しは見えてきているが、現段階では自主財源となる適当な事業がないため、運営経費の削減を図るなどの内部努力を行っている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	団体の性質上、市が直接運営できないことから、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、適正な補助金額の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	平成8年以降、事務局独立と事業拡大に対し、市が支援強化を図ってきたものであるが、スポーツ振興を目的とした公益性の高い事業内容を縮小することや、収益に結びつけることは容易ではなく、現状では、会費見直しや寄附等による増収に努力を続けながら、徐々に改善を図る方向としている。
5	前年度繰越金は生じていないか	☒	4月当初から、各加盟団体への助成対象事業に係る支出や、事務局施設の維持管理費・職員人件費等での支出が生じることから、繰越額での対応を行っている。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市体育協会運営補助金
----------------	--------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を検証する。
(達成状況)
各種スポーツ団体の統括, 援助等, 当協会の指導により 39 加盟団体が積極的に各種事業を実施することにより, 本市のスポーツ振興が図られるとともに, スポーツ健康都市宣言の趣旨に添った活力あるまちづくりが促進されている。 【各種事業内容】 ※カッコ内の件数は平成 30 年度の実績件数 ・著名人による講習会等の特別支援事業 (5 件) ・体験教室等の市民スポーツ推進事業 (21 件) ・合宿等の選手強化事業 (22 件) ・審判講習会等の指導者研修事業 (18 件) ・大会開催事業 (10 件)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☒	本市における全道・全国規模の大会開催や, 各競技団体の選手強化や競技力向上のほか, スポーツに対する市民の関心を高めるなど, 生涯スポーツの振興にも成果を得ている。
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助対象経費の見直しを図るなど, 補助金の縮減に努める。
☒ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(見直しの時期)	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定) 令和 3 年度
令和 3 年度	☒ 終期到来時に再検討	